

JA種子屋久自己改革の取り組み報告

JA種子屋久では、「自己改革実践サイクル」に係る3つの方針を整理し、6月開催の総代会において「自己改革取組宣言」を決定しました。方針の1つである自己改革を実践するための具体的な方針として「農業者の収入拡大・コスト抑制」につながる取り組みについて目標を掲げ、農業者の所得増大に取り組んでいるところです。

つきましては、令和6年度の取り組み状況について以下のとおりご報告いたします。【3月末】

○さとうきびの多収性品種「はるのおうぎ」推進による単収向上

| | | | |
|--------|----------|------|----------|
| R6推進目標 | 1,000 ha | R6実績 | 1,389 ha |
|--------|----------|------|----------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

・関係機関（行政、新光糖業）と連携した多収性品種の特性、栽培等についての研修会の実施。品種推進実施。（はるのおうぎ）

R5年目標：800ha 実績：983ha

○原料用甘藷の多収性品種「こないしん」推進による単収向上

| | | | |
|--------|--------|------|--------|
| R6推進目標 | 324 ha | R6実績 | 274 ha |
|--------|--------|------|--------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

・関係機関（行政、一元集荷連絡協議会）と連携した多収性品種の特性、栽培等についての研修会の実施。品種推進実施。（こないしん）

R5年目標：444ha 実績：278ha

・全体作付面積が減少していることから、令和5年度作付面積541haの60%へ目標面積の変更。

○たんかん優良台木「トロイヤー・シングル」への転換推進による単収向上

| | | | |
|--------|--------|------|--------|
| R6推進目標 | 3.0 ha | R6実績 | 3.0 ha |
|--------|--------|------|--------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

・技連果樹指導班による早期成園化に向けた現地研修会の開催。

・果樹産地協議会による改植事業推進説明会の実施。

R5年目標：3.0ha 実績：2.5ha

○低コスト肥料の取扱拡大を通じたコスト抑制

| | | | |
|--------|----------|------|---------|
| R6推進目標 | 52,000 袋 | R6実績 | 56,143袋 |
|--------|----------|------|---------|

これまでの取組状況、課題と次期対策

・各種申込書（秋肥・春肥等）へのリッチシリーズの記載、および各部会における普及推進の実施。リッチシリーズの特別価格対策キャンペーンの開催。

R5年目標：50,900袋 実績：30,389袋



獅子座
7/23
～8/22

【全体運】耳寄りな話が入ってきます。ただ予定は詰まり気味でかなり忙しそう。効率よく動いて遊びに行く時間づくりを
【健康運】パワフルで頑張りが利きます。睡眠が大事
【幸運を呼ぶ食べ物】タケノコ